

平成26年度 学校自己評価システムシート(埼玉県立羽生高等学校)

H27.3.27

目指す学校像	不登校等の課題を抱えた生徒の基礎学力・集団生活力を養い、社会的自立を実現するとともに地域の生涯学習機関として貢献できる学校
--------	---------------------------------------------------------------

重点目標	<p>1 生徒個々の能力や適性を把握し、少人数の良さを生かした指導方法を工夫・共有して、基礎学力の向上に努める。</p> <p>2 生徒に基本的な生活習慣を身につけさせ、社会性を培い、規律ある明るい校風づくりを推進する。</p> <p>3 学校自己評価システムの効果的な活用を図り、広報活動の一層の充実に努め、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	9名
	事務局(教職員)	15名

学 校 自 己 評 価				年 度 評 価 (1 月 2 9 日 現 在)		
年 度 目 標	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	
1	<p>○生徒の基礎学力や学習意欲に差があり、保護者の学校に対する期待も多様化してきている。個に応じた指導が必要である。</p> <p>○日々の授業の大切さを十分認識できていない生徒がいる。進路実現を促す指導が必要である。</p>	<p>授業改善による基礎学力の向上</p> <p>進路実現の明確化</p>	<p>①授業の中で「学び直し」の要素を工夫する。</p> <p>②わかる授業のために、配慮や工夫、ユニバーサルデザインの視点を評価指標に生かせるか研究する。</p> <p>③基礎学力向上補習の指導を充実させる。</p> <p>④授業力向上研修会を実施する。</p> <p>⑤学習サポーターを活用する。</p> <p>①就職支援アドバイザーを活用した面接指導、模擬授業や進路講演会などの進路行事により生徒の進路意識を高める。</p> <p>②進路について必要な情報を効果的に生徒・保護者に提供する。</p> <p>③実社会で役立つSSTを実施する。</p> <p>④バイターン情報、高技専、奨学金制度の活用など学費面に係る情報提供を行う。</p> <p>⑤部活動、生徒会活動を活発にするるとともにアルバイトの推奨などによりコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>⑥各種検定試験を積極的に実施する。</p>	<p>①②7月及び12月の生徒アンケートによる以下の項目の肯定的評価率</p> <p>ア 授業がわかりやすいか</p> <p>イ 指導方法に工夫はあるか</p> <p>①②学校設定科目の導入の検討とともに、学び直しの機会が設定できたか。</p> <p>③参加生徒数と取り組み状況</p> <p>④実施形態を工夫し実施できたか。</p> <p>⑤授業や教育相談において効果的に活用できたか。</p> <p>①行事実施後の生徒アンケート結果から意識が高まったか。</p> <p>②適時適切な情報提供ができたか。</p> <p>③社会性やコミュニケーション能力について意識するなど生徒の進路意識の向上が図られたか。</p> <p>④経済的な準備に対する意識が高まり、進路実現に結びついたか。</p> <p>⑤部活動、生徒会活動、アルバイト経験が進路実現に結びついたか。</p> <p>⑥検定受検者数が増えたか。</p>	<p>生徒授業アンケートから、生徒は準備をしっかりし授業に臨んでいるとともに、わかりやすく教え方が工夫された授業が行われていると捉えている。また、生徒は基礎学力、コミュニケーション能力を身につけたい、自己の行動に責任を持ちたいと考えるなど、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。なお、平成27年度から学校設定科目「コミュニケーションⅠ」を開講する。</p> <p>①②肯定的評価率H26(H25.H24) ア授業がわかりやすい67%(54%・60%) イ指導方法に工夫ある69%(72%・69%)、「授業で身につけたい力」の記述多数。</p> <p>③8月18～22日国数英の3教科で実施し、延べ24名出席(昨年度31名)。</p> <p>④11月授業力向上職員研修会、協調学習に係る公開授業を実施。</p> <p>⑤2名の学習サポーターが延べ70回、個別面談やTT指導。</p> <p>様々な工夫がされた進路行事や進路情報の提供、外部教育力の活用により生徒の進路意識が高まった。進路決定者は37名(進学28、就職9)(3/27現在)であり、今後も指導を継続し進路決定者を増やす。</p> <p>①就職支援アドバイザー20回の面接指導。6月分野別模擬授業後アンケート「役立った」78%以上。11月進路講演会後アンケート「役立った」95%。</p> <p>②「バイターン情報(年18号)」「高技専」「働きながら学ぶ大学・専門学校」「保護者向け資料」等各種資料を生徒・保護者に効果的に情報提供</p> <p>③4月(校内)及び1月(外部講師)年次別に目標設定をしてソーシャルスキルトレーニングを実施する。</p> <p>④特待制度を利用する進学者5名、高技専進学者3名など進路意識も高まった。</p> <p>⑤アルバイト経験者は71%(現在48%、以前していた23%)。生徒会役員間のコミュニケーションが密になる。</p> <p>⑥11月、2月の商業関係検定は延べ56名受検し合格者34名(昨年度115名受検、合格45名)。</p>	<p>A</p> <p>○生徒の多様化や保護者の期待に対する更なる対応</p> <p>→基礎学力向上のための授業計画・内容の改善</p> <p>→授業力向上のための研修会、互研授業の推進</p> <p>→コミュニケーションⅠの指導方法・内容の工夫</p>
2	<p>○不登校等、対人関係で課題を抱えている生徒がいる。特別支援教育の視点を生かした指導の充実が求められている。</p> <p>○あいさつ等を始めとする日常生活マナーの改善が必要な生徒がいる。継続的な指導が必要である。</p>	<p>教育相談の充実</p> <p>生徒指導の徹底</p>	<p>①中学校等の生徒情報を収集し、これに基づき担任面談、保護者面談等を実施する。</p> <p>②SC、SSWと新入生の面接の機会を設定し、コミュニケーションスキルアップに取り組む。</p> <p>③教員間の連携を深め、課題を抱えた生徒情報を共有する。</p> <p>④特別支援教育コーディネーターを活用する。</p> <p>⑤外部諸機関と連携した支援を行う。</p> <p>①巡回指導を継続する。</p> <p>②過去の資料を分析し予防的な生徒指導を実施する。</p> <p>③生徒指導体制の充実のため、マニュアル等の見直しを検討する。</p>	<p>①指導に役立つ情報収集ができ面接指導の工夫や実施回数が増えたか。</p> <p>②生徒の意識の変化や、あいさつができる生徒が増えたか。</p> <p>③情報を共有し連携した指導ができたか。</p> <p>④特別支援教育の視点に立ち、継続的、効果的な個別の支援ができたか。</p> <p>⑤情報の提供と利用の促進が図られたか。</p> <p>①計画的、継続的な指導により、問題行動が防止できたか。</p> <p>②適時に予防的な生徒指導ができたか。</p> <p>③職員間の共通理解のもと生徒への周知ができたか。</p>	<p>教育相談部の定例会で生徒情報を共有し、年次・担任と連携し効果的に指導ができた。さらに、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、さわやか相談員と連携した教育相談、コーディネーターと連携した継続的な個別支援もでき、総合的に教育相談体制が充実した。</p> <p>①6.9月の面談週間における面談、他適時に担任の個別面談を実施。</p> <p>②SC88件、SSW154件の相談を実施。1年次アドベンチャー教室後アンケート「満足」40%、「人と関わる難しさ・楽しさを体験」多数。</p> <p>③教育相談部会を9回、「保護者の集い」2回実施。「教育相談だより」5回、「SCだより」3回、「SSWだより」1回配布。</p> <p>④特別支援コーディネーター7回の支援訪問により、教育相談部、担任と情報共有を図り個別の支援を行えた。</p> <p>⑤教育相談部、SSWが羽生市子育て支援課等と連携し、修学・就労支援を行うことができた。</p> <p>年度当初から予防的な生徒指導や巡回指導に取り組んだが、マナーアップの向上や問題行動の防止は十分にできなかった。特別生徒指導件数は20件延べ29名(昨年度20件31名)と大幅に減少させることはできなかった。</p> <p>①毎日の構内巡回指導(談話室・マナー指導)及び定期的な巡回指導を実施。</p> <p>②出席状況、巡回時における状況、年次集会等を利用した早めの指導を実施。</p> <p>③全年次で職員共通理解のもと生徒に寄り添い、細かい指導の積み重ねによる粘り強い指導を行った。</p>	<p>A</p> <p>○特別支援教育の視点に立つ指導の充実</p> <p>→コミュニケーション能力を育む指導の充実</p> <p>→外部機関と連携し生徒支援に関する職員研修会の推進</p>
3	<p>○県民・地域に対して本校の特色ある教育活動のアピールが十分ではない。広報活動を充実させる必要がある。</p> <p>○地域の生涯学習機関としての役割を担っている。更にその機能を発展させる必要がある。</p>	<p>情報発信機能の多様化</p> <p>開かれた学校づくり</p>	<p>①HP担当より、魅力ある適時適切な情報発信を行う。</p> <p>②情報通信機器を活用した情報提供を実施する。</p> <p>①特別講座、科目履修、学校公開講座を充実させる。</p> <p>②学校評価懇話会の意見や助言を活用する。</p> <p>③地域との連携を図る。</p>	<p>①適時の更新とアクセス数の増加、部活動の活動状況の発信ができたか。</p> <p>②登録の案内を行い登録者数を増やすとともに、各種の学校情報を発信できたか。</p> <p>①開講講座数、受講者数が増加したか。</p> <p>②意見や助言を反映させた取組ができたか。</p> <p>③生徒会を中心とした地域行事への参加やボランティア活動が充実したか。</p>	<p>学校行事終了後にはホームページ(HP)を工夫し更新したが、アクセス数は微減した。また、初めて台風等の緊急連絡に緊急情報サイトが活用できた。</p> <p>①HPを14回(昨年度20回)更新、アクセス数は月平均約5000件(3月末現在)(昨年度約5200件)。羽高だより(年4号)で部活動大会結果を掲載。</p> <p>②台風に係る臨時休業、年末年始の緊急連絡等に緊急情報サイトを活用し緊急情報を見られる体制を作った。</p> <p>特別講座、科目履修は受講者が減少、学校開放講座は講座数・受講者数とも増加した。評価懇話会で出た意見のなかで、女子更衣室の設置、駅伝大会を実施することができた。</p> <p>①特別講座(半期2)は延べ42名(昨年度60名)、科目履修は1講座1名(昨年度5名)。学校開放講座は6講座に50名(昨年度4講座延べ13名)。</p> <p>②女子更衣室を体育館2階に設置。12月にPTAの協力のもと第1回駅伝大会を実施した。</p> <p>③各年次が年2回校外清掃を行う。中学校向け出前講座を6講座実施。学校説明会に延べ17名(昨年度36名)の生徒がボランティア。12月PTAと協力し合同PTA巡回指導。文化祭ポスター掲示範囲を拡大し勾玉祭をPR。</p>	<p>A</p> <p>○特色ある教育活動の一層の広報活動</p> <p>→HPに適時適切な情報発信</p> <p>→地域、近隣住民への広報方法・内容の工夫</p>
					<p>B</p> <p>○生涯学習機関としての役割の充実と地域連携</p> <p>→特別講座・科目履修の募集に係る広報の工夫</p> <p>→講座内容の工夫と講座数の増加</p> <p>→ボランティア活動の推進</p>	

学校関係者評価	・実施日：平成27年1月30日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○授業改善については、先生方がいろいろ努力をされている。</p> <p>○履修と修得の違いは生徒だけでなく保護者もシステムがよくわからずのみ込めていない。進級はできるけれど単位の修得ができていないというのはどういふことなのかわかりにくい。連絡は早めにして欲しい。</p> <p>○履修と修得については、生徒同士でピアサポート役をつくり教え合うのがよいのではないかと。生徒が聞きに行ける場所があるとよい。生徒会が中心になり進めていくのがよい。</p> <p>○先生方が実施する授業アンケートについては、結果を知らせて欲しい。</p> <p>○「コミュニケーションⅠ」は、生徒にとってよい授業だと思う。</p> <p>○生徒から羽生高校は自由であるのがよいとの意見があったが、自由には責任が伴うものである。責任ある行動がとれるよう頑張ってください。</p> <p>○羽生駅周辺にたむろしている高校生(羽生高校生とは限らない)がいて怖い感じがする。警察と連携し改善できる余地がある。</p> <p>○先生方がいろいろな問題に取り組んでいるのは、生徒との信頼関係につながり、両者にとってよいことである。</p> <p>○更衣室については、早く対応して有り難うございました。保護者としても安心しました。</p> <p>○特別講座で大人向けのコミュニケーション講座があるとよい。聞きたい人もいます。</p>